

# 記載例

様式第3の6

## 水銀排出施設設置（使用、変更）届出書

不要なものを削除する

年 月 日

徳島県知事 殿

個人の場合は個人名を記入  
法人の場合は法人名並びに代表者の氏名を記入  
代表者でない場合は委任状が必要

届出者 ○○市○○町○○丁目○○番地  
株式会社 ○○  
代表取締役 ○○ ○○

大気汚染防止法第18条の28第1項（~~第18条の29第1項、第18条の30第1項~~）の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

不要なものを削除する

工場又は事業場の名称	株式会社○○	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	○○市○○町○ ○丁目○○番地	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	8項廃棄物焼却炉 No.1	施行規則別表第3の3に掲げる項番号及び名称、施設番号	
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。		
参考事項			

- 備考
- 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
  - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
  - 5 参考事項の欄に、施行規則様式第1による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が別紙1～3の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙1～3の全部又は一部を省略することができる。

別紙 1

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		〇〇焼却炉 1 号炉
名 称 及 び 型 式		〇〇〇〇 AB-1
設 置 年 月 日		年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		〇年 〇〇月 〇〇日
規 模	燃 料 の 燃 焼 能 力 (重油換算 L/h)	
	原 料 の 処 理 能 力 (t/h)	
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )	〇〇 m <sup>2</sup>
	変圧器の定格容量 (kVA)	
	焼 却 能 力 (k g / h )	〇〇〇 kg/h

設置年月日は空欄とする。  
着手予定年月日及び使用開始年月日の欄は記入する。

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、参考事項の欄に、施行規則様式第1による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		〇〇焼却炉 1号炉	
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	〇時～ 〇時 〇時間/回〇回/日〇日/月	
	季節変動	通年	
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	廃プラ, 木くず, 汚泥	
	使用割合	廃プラ, 木くず, 汚泥 3 : 1 : 1	
	原材料中の水銀等含有割合	廃プラ 0.1 mg/kg ※ 木くず 0.05 mg/kg 汚泥 0.1 mg/kg	
	1日の使用量	〇〇〇〇 kg/日	
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	〇〇〇	
	燃料中の水銀等の含有割合	〇〇 mg/kg ※	
	通常の使用量	〇〇 t/日	
	混焼割合	専焼	
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)		湿り	最大〇〇 通常〇〇
		乾き	最大〇〇 通常〇〇
排出ガス中の酸素濃度 (%)		〇〇%	
水銀濃度 (μg/m <sup>3</sup> )	全水銀	〇〇 μg/m <sup>3</sup> ※	
	ガス状水銀	〇〇 μg/m <sup>3</sup> ※	
	粒子状水銀	〇〇 μg/m <sup>3</sup> ※	
参考事項			

大気汚染防止法ばい煙発生施設の届出書と同一の内容としてください。

なお、※の項目は、ばい煙発生施設の項目にはないものです。

届出内容と現状に相違ができた場合は、ばい煙発生施設の変更届出が必要となりますので、ご連絡ください。

代表値や平均値を記載。幅記載でも可。測定が不可能な場合は空欄でも可(例：感染性廃棄物)。

乾きガス中の濃度を記載。数回測定を行っている場合は、平均値を記載。処理施設がある場合は、処理後の濃度。届出時点で実測値が得られていない場合は空欄でも可であるが、定期測定後に変更届を要する。

- 備考
- 1 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
  - 2 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
  - 3 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
  - 4 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出抑制のために採っている方法等を記載すること。

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号		〇〇処理施設 1号		大気汚染防止法ばい煙発生施設の届出書と同一の内容としてください。なお、※の項目は、ばい煙発生施設の項目にはないものです。 届出内容と現状に相違ができた場合は、ばい煙発生施設の変更届出が必要となりますので、ご連絡ください。	
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号		〇〇焼却炉 1号炉			
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式		〇〇〇〇 AB-2			
設置年月日		〇年 〇月 〇日			
着手予定年月日		〇年 〇月 〇日			
使用開始予定年月日		〇年 〇月 〇日		設置年月日は空欄。 着手予定年月日及び使用開始予定年月日を記載する。	
処理能力	排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	湿り	最大 〇〇 通常 〇〇	乾きガス中の濃度を記載。数回測定を行っている場合は、平均値を記載。 処理後のみ測定を実施した場合は、処理前は空欄とする。 処理前と処理後の濃度測定を実施した場合は、捕集効率を記載。	
		乾き	最大 〇〇 通常 〇〇		
	排出ガス温度 (°C)	処理前	〇〇〇		
		処理後	〇〇〇		
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		〇〇%		
	水銀濃度 (µg/m <sup>3</sup> )	全水銀	処理前		〇〇 µg/m <sup>3</sup>
			処理後		〇〇 µg/m <sup>3</sup> ※
		ガス状水銀	処理前		〇〇 µg/m <sup>3</sup>
			処理後		〇〇 µg/m <sup>3</sup>
		粒子状水銀	処理前		〇〇 µg/m <sup>3</sup>
処理後			〇〇 µg/m <sup>3</sup>		
捕集効率 (%)	全水銀	〇〇%	※		
	ガス状水銀	〇〇%			
	粒子状水銀	〇〇%			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		〇時～ 〇時 〇時間/回 〇回/日 〇日/月		
	季節変動		通年		

- 備考
- 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
  - 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 3 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
  - 4 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
  - 5 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、参考事項の欄に、施行規則様式第1による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。